



記者発表資料

『日光砂防ボランティア協会と協同で
土石流危険溪流調査』を実施します。

昨年の岩手・宮城内陸地震では、がけ崩れや天然ダムの出現などにより、住民生活に大きな影響を及ぼしました。このような**土石流災害の防止や被害を軽減**するため国土交通省では、砂防施設の整備といった**ハード対策**や、雨量・水位や土石流危険箇所の情報を提供する**ソフト対策**を行っております。

日光砂防事務所では本格的な台風・降雨シーズンを前に**日光砂防ボランティア協会**と協同して、**土石流危険溪流調査**を行います。土石流災害は、ひとたび発生すると、住民の尊い生命や財産を一瞬にして奪い去ってしまう恐ろしいものであり、毎年、梅雨時から秋の台風シーズンにかけての時期が一年のうちでも発生しやすい時期です。土石流危険溪流について、土石の崩壊など異常の有無を把握し、土石流災害の防止・軽減に備えることとしていきます。

日光砂防ボランティア協会は、国土交通省の砂防事業を担当し退職された方から構成され、**土石流災害に関し豊富な知識と経験を有している団体**です。また「**斜面判定士**」の資格を有する方も多数おられます。

平成21年 6月17日

国土交通省 関東地方整備局

日光砂防事務所

発表記者クラブ

栃木県政記者クラブ	日光記者クラブ
竹芝記者クラブ	神奈川建設記者会
横浜海事記者クラブ	

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 日光砂防事務所

TEL : 0288-54-1191 (代)

FAX : 0288-54-1360

〒321-1414 栃木県日光市萩垣面2390

副所長(技) たのうえゆうじ 田上祐二 (内線204)

建設専門官 かわかみとしお 川上俊夫 (内線401)

【 土石流危険渓流調査内容 】

☆実施予定日時 平成21年 6月23日(火) 第1候補日
6月24日(水) (予備日)
調査は1日で終了します。

☆実施場所 大谷川流域の危険渓流

○ 別倉沢	○ 丹勢山沢
○ 浄水場沢	○ 社宅上沢
○ 安良沢	○ 野上沢
○ 田母沢	○ 根通り沢等

☆実施内容 現地調査・現地簡易測量・写真撮影・報告書作成

☆参加者 日光砂防ボランティア協会 9名
日光砂防事務所職員 4名

平成20年度実績
日光市手白沢温泉付近の危険渓流調査状況

